

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年4月18日

事業所名 すまいるべーす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	状況や活動内容により、場所を分けている	児童のいる場所が偏ってしまうと、手狭になることもある
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	必要に応じて、配置人数を増やしている	継続していく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	職員間で共有、改善するよう心掛けている	安全性を確保するために、第三者による評価を行う
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	100%	0%	毎朝のミーティングで振り返りと情報共有をしている	今後も引き続き行う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%	出来るだけアンケート回収に努めている	なるべく多くの保護者の意見を集められるよう、更なる周知が必要
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPで必ず公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		今後の課題として、第三者による外部評価を行っていきけるようにする
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	2か月に一度、社内研修を行っている。定期的に市の研修も受けている	資質向上のためにも、研修には積極的に参加していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童の状況や、保護者の意向を聞き、作成している。また、アセスメント内容を全職員で情報共有している	利用児童、保護者に寄り添う支援を行っていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	記録はデータとして残し、職員がいつでも見られるようにしている	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	その日に出勤している職員で必ず行うようにしている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	プログラム実施担当者を日替わり制にしている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	83%	17%	休日、長期休暇は普段できない遠出や、イベントを考えて実施している	今後も様々な課題やイベントを考え、実施していく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	児童の状況に応じて、個別、集団を組み合わせで作成している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	その日の全体活動のリーダー等の役割はきちんと分担している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	その日に伝えるべきことは報告している	出来る限り時間を作り、振り返りを行うようにする
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	その日の児童の様子を細かく記載するようにしている	些細なことでもヒヤリハットをもっと多く記録していく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度必ずモニタリングを行っている	必要に応じて、その都度モニタリングを行う
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	67%	33%		組み合わせで支援できるよう考えていく

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月18日

事業所名 すまいるべーす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	児童発達管理責任者と児童の担当職員が参加し、会議後には全職員に周知している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	67%	33%	HP等で事前に調べたうえで保護者に確認している。	積極的に学校へも確認できるようにしていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%		支援を円滑に行うためにも保護者に確認の上、就学前にいた施設に連絡していくようにする
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%		必要に応じて、情報提供していく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%	定期的に受講している	今後も積極的に受講していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	67%	33%	事業所提携の保育園の子供達と関わる機会を設けたり、地域の公民館のお祭り等に参加している	求めている保護者もいるが、地域交流の為に今後もその様な機会は設けていきたい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%		積極的に参加していきたい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡ノートの記録、送迎時には必ず保護者の方と話、共通理解を図っている	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	50%	50%	送迎時やモニタリング等で行っている	保護者の方がもっと相談しやすい環境にするために、日ごろの関わり方も意識していく
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時、その他、必要に応じて説明している	全職員がしっかりと理解し、説明できるようにしていく
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	職員間で共有した上で行っている	現状以上に寄り添う支援を心がける
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		コロナ前のように、再度開催できるよう検討していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	職員間でもすぐに共有し、適切な対応が出来るようにしている	今後も継続し、再発防止に努める
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	67%	33%	長期休暇のイベント等は予定表を配布したり、インスタグラムで発信している	インスタグラムメインになっている為、その他の方法でも発信していくように考える
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	新入社員にもその旨は厳しく指導している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	児童の特性を把握し、配慮している	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		地域住民の理解を深める為にも、可能なのであれば検討していきたい

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年4月18日

事業所名 すまいるべーす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	災害時対応マニュアルを全利用者に配布、HPにも公開している	変更があった場合は直ぐに周知していけるよう徹底する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	1か月に一度避難訓練を行い、長期休暇時には防災センターへ行っている	継続していく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	外部からの研修を受けている	事業所内でも定期的に行い、意識を高めていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	子ども支援センターにも確認し、保護者にも説明をした上で記載、記録を残している	保護者の方が不安にならない為にも、その都度しっかりと報告、共有していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	83%	17%	保護者からの情報を基に配慮している	心配な時はその都度保護者にも確認していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事業所内で共有、すぐに確認できるようにしている	